

岩手県

氏名 石川 雅一 (いしかわ まさかず)

(満 45 歳 昭和 50 年 12 月 10 日生)

1 推薦の理由

平成 13 年度に滝沢市立滝沢中学校教諭として着任以来、自校の体力課題の改善を図りながら、運動が苦手な生徒を大切に、生徒と共につくる保健体育授業を心掛けている。

また、盛岡市中学校体育連盟体操・新体操専門委員長を 7 年、岩手県中学校体育連盟体操・新体操専門委員長を 5 年務め、運動部活動指導においても指導力を発揮している。また、現在は、盛岡市中学校体育連盟事務局長を務め、盛岡市内の中学生の安全に配慮し、健全な身体を育成するとともに、明朗な精神の高揚を図るための普及・発展に貢献している。

保健体育の授業実践や中体連の活動をとおして、中学校保健体育教諭の模範となり、今後も更なる活躍が期待できる人材である。

2 被推薦者の「体育授業」の特徴、指導効果、その成果の汎用性、成果を証明する資料等

被推薦者の体育授業の特徴として、これまでの体育指導の蓄積を生かし、「できない」から「できる」に変容する学習過程を重視し、運動が好きな生徒を育成している。その指導の工夫の観点として次のことが挙げられる。

一つ目は、ウォーミングアップの工夫である。自校の課題である体力を考慮し、年間をとおして取り組むことで体力向上を図っている。また、単元では、主運動につながる体ほぐしの運動の要素を取り入れ、運動が苦手な生徒でも心と体をほぐし、運動を楽しめるよう配慮している。

二つ目は、生徒同士の称賛や励ましの声を大切にすることである。学び合いでは、お互いに教え合ったり出来栄を評価したりする中で、生徒の不安を解消するような温かい声掛けや肯定的なアドバイスを意識し、教師だけではなく、仲間からの声掛けを促している。その結果、「みんなで」「みんなが」できるようになるために関わることで、意欲の向上が図られ、運動の楽し

さや面白さを体感することに繋がっている。

三つ目は、単元の終わりにスポーツイベントを開催することである。学習した内容を活用し、競い合ったり発表会をしたりしながら、運動の特性や魅力を実感できる場を設定している。

山田町立豊間根中学校学校公開研究会で実践したマット運動の指導では、実施前のアンケートで、「マット運動が好き」と答えた生徒が 17% に対して、実施後では 88.5% と増加している。この成果を受け、更なるウォーミングアップドリルの改良や学び合う場の設定などの工夫がなされ、日々、研究を重ねて実践に励んでいる。

3 公的な大会・研修会等で発表した授業実践や講習会の講師を務めた講習内容等の概要

平成 20 年度開催の第 47 回全国学校体育研究大会岩手大会における分科会校の研究同人として、「体育における確かな力を育てる学習指導の在り方」に関わり、ドリル学習の工夫等ついて研究を深め、分科会の成功に尽力した。

また、平成 27・28 年度には、武道等指導充実・資質向上支援事業において、実践校支援委員の一人として、陸上運動系のモデル授業づくりに貢献するとともに研修会の運営に携わった。

さらに、平成 27 年度千葉県千葉市で行われた子どもの体力向上指導者養成研修会の「器械運動」に参加し、その後の岩手県体力向上指導者研修会において講師を務めた。段階的な指導をとおして、運動の楽しさを味わわせる指導のポイントをわかりやすく講義した。

4 勤続年数 20 年

5 職歴

平成 13 年 滝沢市立滝沢中学校教諭

平成 16 年 盛岡市立下小路中学校教諭

平成 24 年 山田町立豊間根中学校教諭

平成 29 年 盛岡市立北陵中学校教諭